あすジョブラボシンポ

「DX時代」オンライン討論

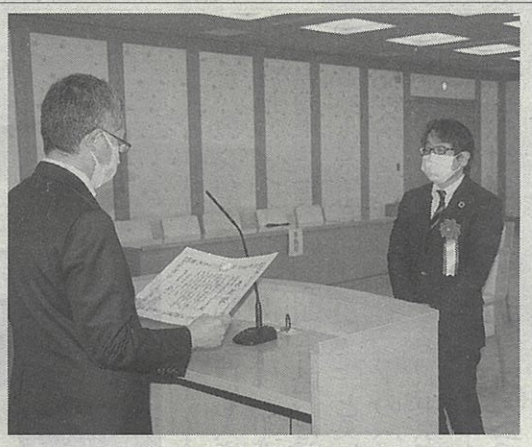
創業支援を手掛ける一般社団法人ジョブラボぐんま（桐生市本町五丁目、宮坂あつこ代表理事）はあす3日、オンライン討論会「ジョブラボシンポジウム2021」を開く。

新型コロナウイルス禍を受け、社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）化が急進する中、DX時代の地域に求められる視点や価値観について考える。

「ジョブラボシンポジウム2021」のチラシ

「DX時代の地域イノベーション」をテーマに、SCB（地域コミュニティーブランド）理論を提唱する星合隆成・崇城大情報学部教授が基調講演し、星合教授と有福英幸・フューチャーセッションズ社長、馬場博史・ソフトバンク人材育成支援部担当部長らがパネル討論会を展開する。

午後2時から同4時まで県庁32階の官民共創スペース「NETSUGEN（ネッゲン）」からオンライン会議アプリ「Zoom（ズーム）」で無料配信する。事前申し込み制で、希望者は専用フォームで氏名とメールアドレスを送信すると視聴用の手続きが案内される。問い合わせはジョブラボぐんま（FM桐生内、電22・3339）またはメール（info@joblab.gunma.jp）へ。


表彰状を受け取る中村理事長㊨（群馬県庁で）

コープぐんま「優秀賞」

県いきいきGカンパニー優良事業所で

生活協同組合コープぐんま（桐生市相生町一丁目、中村隆夫理事長）はこのほど、従業員のワーク・ライフ・バランスなどを推進する「群馬県いきいきGカンパニー優良事業所」の「優秀賞」を受賞した。

いきいきGカンパニー優良事業所表彰は、育児・介護と仕事の両立支援、ワーク・ライフ・バランスの推進および女性の活躍推進に関し、過去3～5年間の実績や特色ある取り組みを基に選考。有識者らからなる選考委員会を経て知事が決定する。

同組合は、男性従業員の育児休業取得のための制度案内強化や「子育て応援のしおり」の作成、パート従業員の総合職・専任職などの正規雇用転換の推進、ノー残業デーの個人設定による推進徹底などを実施。総合的に優良な取り組みを行う事業所として優秀賞に選ばれた。

県庁で開かれた表彰式で中村理事長は「長く働ける環境づくりを大切にしていきたい。従業員の要望を聞き、取り組みに反映させていく。今回の受賞を励みにより一層努力していく」と語った。

子どもの「コロナうつ」深刻

高校生の3割に症状―成育医療研

新型コロナウイルスの影響の長期化で、子どものうつ症状が深刻なことが、国立成育医療研究センター（東京）の調査で分かった。高校生の3割にうつ症状が見られ、同センターは「早急な対応が必要だ」と危機感を募らせている。

調査は、感染が拡大した昨年11～12月、インターネットで実施。小学4年～高校生の計7157人から、直近1週間の心の状態を探るため、「気分が落ち込む」「疲れた感じがする」など9項目について、「ほとんど毎日」から「全くない」までで4段階で回答を得た。

その結果、高校生（344人）の30%に中等度以上のうつ症状があることが判明。小学生（261人）の15%、中学生（110人）の24%も同様とされた。

中でも「死んだ方がいい、または自分を何らかの方法で傷つけようと思った」との問いには、全体の6%が「ほとんど毎日」と回答。全体の16%が髪の毛を抜くなどの自傷行為をしていたことも分かった。

自由記述欄には「コロナになって悪口を言われたり差別されたりしている人がいる」「コロナに縛られて自由がない」といった意見が相次いだ。

調査に携わった半谷まゆみ医師は「長期間に及ぶコロナ禍のストレスで、うつ症状が増えているのではないか」と分析。「子どもはストレスを自覚し、発散することが得意ではない。保護者は子どもに共感し話を聞いてあげてほしい」と訴えた。

一方、保護者約3600人に対する調査でも、29%にうつ症状が確認された。半谷医師は「保護者の状態は子どもに影響する。子どものSOSを見逃さないためにも、大人も心の余裕は必要だ」と話した。

【悩みを抱えている子どもの相談窓口】
▽「チャイルドライン」（0120・99・7777＝毎日午後4時～同9時。18歳まで）

News Flash ニュース フラッシュ

カード・通帳、5244件戻らず

みずほ銀行の藤原弘治頭取は1日、現金自動預払機（ATM）が停止したシステム障害を受けて記者会見し、他行分を含め計5244件のキャッシュカードや預金通帳がATM内に取り込まれる被害が出たと明らかにした。みずほは、2002年の発足直後と11年の東日本大震災後に大規模なシステム障害を起こしている。19年には銀行業務の基幹システムを全面刷新したにもかかわらず、3度目の大規模障害が発生、信頼の低下は必至だ。

予算案、午後に衆院通過

2021年度予算案は2日午後の衆院本会議で、自民、公明両党などの賛成多数で可決され、参院に送付される。予算は憲法の衆院優越規定に基づき参院送付から30日で自然成立するため、同予算案の年度内成立が確定する。

医薬品冷凍庫でワクチン保管可能に

米製薬大手ファイザーは1日、同社が開発した新型コロナウイルスワクチンに関し、日本国内でも零下25度から零下15度で最長14日間保存が可能になったと発表した。これまでは零下60度以下の超低温が求められていたが、通常の医薬品用冷凍庫で一定期間保管できることになり、接種に向けた輸送などの取り扱いが容易になる。

ワクチン「柔軟対応可能に」

田村憲久厚生労働相は2日の閣議後記者会見で、米製薬大手ファイザーが新型コロナウイルスワクチンの保管温度を零下25～同15度に見直したことについて「より柔軟な対応が取れ、今までより幅が広がった」と評価した。

ワクチン用冷凍庫が故障、1000回分使えず

厚生労働省は1日、医療従事者に対する新型コロナウイルスワクチンの先行接種を行っている医療機関で保管用の超低温冷凍庫が故障し、ワクチン172瓶が使えなくなったと発表した。1瓶から6回採取する場合だと1032回分に相当する。

クロネコヤマト、64年ぶりロゴ一新

宅配便最大手ヤマトホールディングスは1日、1957年に制定以来、同社のシンボルとなってきた「クロネコ」マークを64年ぶりに一新すると発表した。4月1日のグループ再編に合わせて「新しい付加価値を提供したい」といい、集配車などに順次あしらう。

逃亡手助けの親子、米から身柄引き渡し

日産自動車の前会長カルロス・ゴーン被告（66）が保釈中にレバノンに逃亡した事件で、逃亡を手助けしたなどとして米当局に拘束された米国籍の親子2人の身柄が1日（米国時間）、日本側に引き渡された。東部ボストンの空港から移送しており、2日夕（日本時間）に日本に到着する。

ヤフー・LINEが経営統合

ヤフー親会社のZホールディングス（HD）は1日、対話アプリ大手のLINEと経営統合した。サービス総利用者が延べ3億人超、時価総額は5兆円規模と国内最大級のデジタル企業が誕生した。今後5年間で人工知能（AI）技術などに5000億円を投資し、電子商取引や金融などのサービスを拡充。米グーグルを含む「GAFA」といった海外の巨大IT企業に対抗する。

ときのことば

『mRNAワクチン』

遺伝物質「メッセンジャーRNA（mRNA）」を用いたワクチン。新型コロナウイルスに対し初めて実用化され、国内で米製薬大手ファイザー製ワクチンの医療従事者への先行接種が17日に始まった。

ウイルスのmRNAを人工合成して、筋肉に注射すると体内でウイルスのタンパク質ができ、免疫が働いて抗体が作られる仕組みだ。同社の臨床試験（治験）では発症率が約20分の1に下がるなど高い効果が報告された。有害事象は痛み、疲労感、発熱などで、米国では重いアレルギー反応もまれに見られた。

あなたご存じ？